

(4) 地下水位の経年変化及び要因

中流域の地下水状況は、下流域と同様、降雨と密接に関係しており、雨の多い夏季（8月前後）で水位が高く、雨の少ない冬季（3月前後）で水位が低くなる傾向にあります。また、年平均地下水位は、各年で上下しますが、過去10年間では傾向的な変化は見られません。

《解説》

中流域地下水位観測所の過去10年間の地下水位変動データを図-6.3.5に示しました。

- ・中流域の地下水状況は観測点が少なく、詳細は不明ですが、概略の地下水位の季節変動は下流域と同様、降雨と密接に関係しており、雨の多い夏季（8月前後）で水位が高く、雨の少ない冬季（3月前後）で水位が低くなる傾向にあります。
- ・夏季と冬季の年間水位差は、0.5～1.5m程度と考えられます。
- ・地下水位の等高線は、吉野川とほぼ平行になっており、岩津から下流域に比べ、地下水位等高線の間隔が密（地下水面の勾配が急）になっています。
- ・また、年平均地下水位は、各年で上下しますが、過去10年間では傾向的な変化は見られません。

中流域観測所の地下水位変動

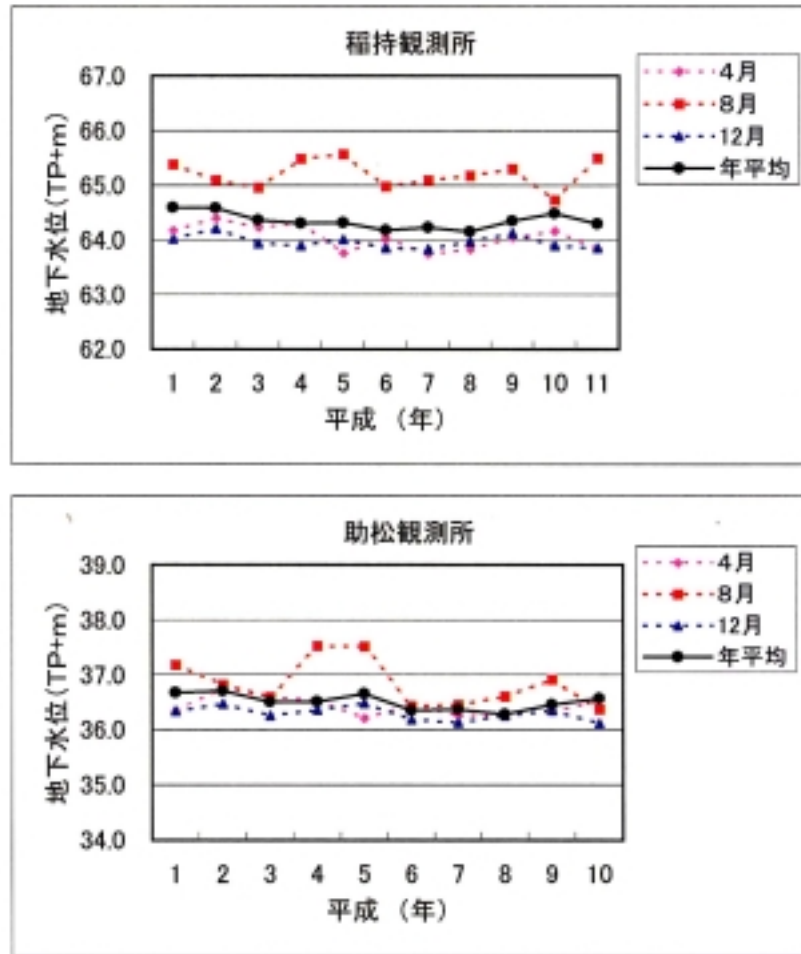


図-6.3.5 中流域観測所の地下水位